


**ビジネスコミュニケーション学部 ビジネスコミュニケーション学科**
**講師 禿 寿 TOKU Hisashi**
**専門・活動分野 行動経済学、実験経済学、地域経済**
**最新の研究内容**
**テーマ：人の意思決定と協力行動を理解し、デザインする研究**
**研究/活動紹介**
**背景**

人の意思決定や協力行動は、必ずしも合理性だけでは説明しきれず、認知バイアスや情報の偏り、暗黙のコミュニケーションなどが影響することが、近年明らかになってきています。特に、情報が不完全な状況や他者の意図が把握しにくい場面では、行動や判断が大きく変化します。本研究では、社会や集団の中で人がどのように選択し、調整し、協力関係を形成するのかというメカニズムの理解を目指しています。こうした現象の理解は、経済学にとどまらず、公共政策、教育、地域社会、組織行動など、幅広い領域において重要性を増しています。

**目的**

行動経済学および実験経済学の枠組みを用いて、情報構造やコミュニケーション形式が意思決定や協力行動にどのような影響を与えるのかを明らかにすることを目的としています。これまでの研究では、連続時間チープトーク（利害が変わらない状況下での自由なコミュニケーション）や非対称情報環境に焦点を当て、不確実性のある状況において人々がどのように合意形成や協働を選択するのかを検証してきました。今後は、これらに加えて、生成AIとのコミュニケーションや意思決定支援との関係性にも着目していく予定です。

**成果・効果や展望**

これまでの実験研究からは、連続時間チープトークが協力水準を高め得ることや、情報が更新されるタイミングや伝達方法が合意形成に影響を及ぼす可能性が示されています。今後は、こうした知見を体系的に整理し、モデル化や比較実験を進めながら、地域政策や組織・教育場面への応用可能性を検討していく予定です。また、生成AIとのコミュニケーションや意思決定支援との関連についても探索的に検討し、研究領域を段階的に拡張していく構想です。

&lt;実験風景・実験ブース&gt;



&lt;公開講座の様子&gt;


**産学連携/地域貢献へのアピールポイント、相談可能事項**

- ・ 行動調査・実験の設計支援
- ・ データ分析・可視化支援
- ・ 意思決定や参加促進に関する行動分析
- ・ 地域政策・公共施策への行動介入（ナッジ等）の検討

**学会・経歴**
**経歴：**

- ・ 博士（経済学） / 大阪府立大学大学院（現：大阪公立大学大学院）
- ・ 福井県立大学地域経済研究所客員研究員（2021-2023）
- ・ 仁愛女子短期大学非常勤講師（2022-2024）
- ・ 仁愛大学専任講師（2022-）

**所属学会：**

行動経済学会 / 日本地域経済学会 / 数理社会学会

&lt;お問合せ窓口&gt;

仁愛大学 地域共創センター TEL 0778-43-6576 e-mail collabo@jindai.ac.jp